

○ 沿革の概要

昭和 22 年	学制改革により、久下村・小川村学校組合立山南中学校及び上久下村立上久下中学校として設立が認可され5月開校 校舎は小川小、久下小、上久下小の各部を使用
4 月 10 日	
昭和 23 年 3 月	上久下村立上久下中学校校舎上棟式
昭和 23 年 6 月	久下村、小川村学校組合立山南中学校の校舎落成式
昭和 30 年 7 月	町村合併により両校を山南町立に改称
昭和 31 年 3 月	山南町立山南中学校体育館竣工 当時裏山農園に果樹、茶などを栽培、文部省より産業教育研指定
昭和 33 年 4 月	上久下、山南両中学校を合併し山南町立山南中学校とする。上久下校舎閉鎖、理科・家庭科棟竣工
昭和 36 年 10 月	給食棟、音楽、図書、美術棟竣工
昭和 38 年 8 月	県中学校庭球大会会場記念としてテニスコート2面完成
昭和 39 年 8 月	技術科棟竣工
昭和 41 年 8 月	開校 20 周年記念としてバスケットボールコート・バレーボールコート完成
昭和 43 年 7 月	水泳プール 25m 9 コース完成
昭和 45 年 12 月	兵庫県より愛鳥モデル校の指定を受ける
昭和 50 年 5 月	本館鉄筋コンクリート3階建て延べ 2,635 m ² 竣工
昭和 63 年 3 月	特別教室（理科・音楽・美術・技術・家庭・L L）棟鉄筋コンクリート2階建て延べ 1,534 m ² 竣工
昭和 63 年 6 月	プール更衣室完成
平成元年 4 月	兵庫県教育委員会より「やりぬく子を育てる道徳教育推進校」の指定を受ける
平成元年 6 月	プール濾過器取り替え工事完成
平成 3 年 2 月	給食調理棟鉄筋コンクリート平屋建て延べ 132 m ² 竣工
平成 4 年 3 月	体育館竣工、鉄筋コンクリート造（一部鉄筋造）2階建物床面積、1,200 m ² （1 F 1,123 m ² 2 F 77 m ² ）
平成 5 年 11 月	コンピュータ室完成。コンピュータ 2 1 台設置
平成 6 年 8 月	テニスコート撒水栓工事（2基）
平成 7 年	兵庫県教育委員会より「自然学校」の指定を受ける コンピュータ用電話回線工事(3月)
平成 8 年 9 月	本館大規模改造第1期工事
平成 9 年	本館大規模改造第2期工事 文部省より「人権教育研究推進校」指定を受ける。（～平成 10 年）ボランティア活動推進協力校。
平成 10 年	2年生「トライやる・ウィーク」始まる
平成 11 年	運動場西側フェンス新設
平成 12 年	3年生修学旅行「沖縄方面」へ
平成 13 年 2 月	長崎被爆くすのき植樹・「永遠(とわ)の木」石碑建立セレモニー
平成 16 年	グラウンド砂場新設 丹波市立山南中学校へ名称変更（11月）
平成 17・18 年	兵庫県教育委員会より「環境教育推進実践校」の指定を受ける
平成 19 年	文科省指定「人間としての在り方生き方を考える教育」実践研究事業 県教委指定「道徳教育実践推進アクションプラン」を受け研究推進
平成 20 年 12 月	道徳教育実践研究事業（名称変更）研究冊子完成・駐輪場新設
平成 21 年	県教委指定「運動プログラム実践推進校」を受け研究推進
平成 23・24 年	丹波市教育委員会指定「学力向上プロジェクト事業実践推進校」を受け研究推進
平成 26 年	県教委指定「業務改善新対策プラン推進校」を受け研究推進
平成 27 年	体育館天井耐震工事
平成 28 年	丹波市教育委員会指定「授業のユニバーサルデザイン化研修事業」を受け研究推進 学校住所が「丹波市山南町谷川 4065 番地」に変更（9月）
平成 29 年	丹波市教育委員会指定「授業のユニバーサルデザイン化研修事業」が2年間の延長指定され研究推進
平成 30 年	丹波市教育委員会指定「授業のユニバーサルデザイン化研修事業」を受け研究推進 普通教室空調設備工事完了
令和 元年	令和 5 年開校予定の山南地域統合中学校名が「山南中学校」に決定
令和 2 年	校内 Wifi 工事完了

